



うちな〜に詳しいコメンテーターと  
りゅうちゃんがニュースを分かりやす  
く紹介する「そこが知りたい!なるほ  
どうちな〜ニュース」。今回のテーマ  
は「世界のウチナンチュ」です。今  
月30日は「世界のウチナンチュの

日」です。昔、たくさんの県民が移民  
として海外に移り住みました。ウチナ  
ンチュの血をひく県系人は今や42万  
人に上ると言われています。ほぼ5年  
に1度、世界の国々からウチナンチュ  
が集まる「世界のウチナンチュ大

会」では、ウチナンチュ同士の絆を  
深め、沖縄への思いを新たにします。  
移民の歴史や沖縄との関わりを、おし  
ゃべり好きな「沖縄そば子さん」に解  
説してもらいます。

(2面に続く)



# 世界に広がる ゆいまーるの心

世界中にウチナンチュって42万人もいりゅんだね！  
どうしてそんなにたくさんの方が海外に移り住んだの？

あ、りゅうちゃん、いい質問だね～。沖縄県の移民は1899年にハワイに向かった27人から始まったさー。当時の沖縄はとても貧しくてね。そこで海外で働いてお金を稼ごうという「移民事業」が進められたわけよ。移民のアイデアを出したのは富山久三っていう人。「移民の父」って呼ばれているさー。戦前、海外に移住したウチナンチュは約7万5千人にもなり、移民先からの送金が「ソテツ地獄」と呼ばれた貧しい沖縄の経済を支えるほどだったんだよ。

移住した人たちの暮らしはどうだったの？

豊かな暮らしを夢見て海外に渡ったけど、想像以上の厳しい労働環境に苦勞したらしいよ。移住先での仕事はハワイではサトウキビ畑、ブラジルではコーヒー農園、ペルーでは鉱山など国によっていろいろだったわけ。太平洋戦争中は排日暴動で襲撃されたり、強制収容所に入れられたり、ますます厳しい状況に追い込まれていったんだ


よ。南洋群島では激しい地上戦に巻き込まれた人たちもたくさんいたんだよ。自分たちもこんなに苦勞しているのに、戦後、沖縄が焼け野原になったって聞いた移住者たちは、衣類とか食料とかを送ってくれて沖縄復興に大きな役割を果たしてくれたわけさー。

うお～。移民のみなさんに感謝りゅう～。

海外移民は沖縄を離れてもみんな、沖縄の言葉や唄三線、そしてゆいまーるの心を忘れたかったさー。各地で沖縄の人が作ったグループが県人会になって今でも活動が続いているんだよ。

30年前の1990年には第1回世界のウチナンチュ大会が開催され、約2400人が沖縄を訪れたさ。もう本当に盛り上がり感動的だったよー。4年前の第6回大会では閉会式の日だった10月30日を「世界のウチナンチュの日」に制定することが宣言されたさ。今は移住した1世の孫やひ孫の時代になって現地でもたくさんの県系人が活躍しているんだよ。これからも世界に広がるウチナンチュの輪を大切に、しっかりつながっていきたいね～。

★世界のウチナンチュの日 2016年10月30日、第6回世界のウチナンチュ大会の閉会式で、毎年10月30日を世界中のウチナンチュが「ウチナンチュであること」を祝う記念日として「世界のウチナンチュの日」に制定することが宣言されました。制定を働きかけたのは名護市在住の比嘉アンドレスさん＝アルゼンチン3世＝と伊佐正アンドレスさん＝ペルー3世＝でした。



比嘉アンドレスさん(左)と伊佐正アンドレスさん

### オンラインイベントも！

「世界のウチナンチュの日」には沖縄県主催のオンライン・トークイベントが行われます。知事からの世界のウチナンチュに向けたメッセージや海外県人会から県民へのメッセージ、首里城復興の現状を紹介いたします。また、演出家の平田大ーさんと、シカゴ、オハイオ、ロンドン、



10.30 世界のウチナンチュの日  
WORLD UCHINANCHU DAY

ペルー、シドニーの4カ国の次世代ウチナンチュとのクロストークのライブ配信も！  
日時：30日午後8時配信開始



## 世界各地の沖縄県人会

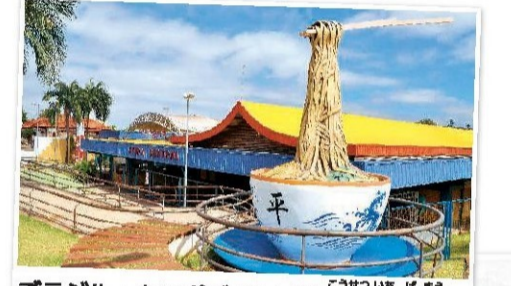
※沖縄県海外沖縄県人会資料より(2017年3月時点)



- ヨーロッパ 7団体**
  - イギリス1
  - スウェーデン1
  - スペイン2
  - ドイツ1
  - フランス1
  - ノルウェー1
- アジア 16団体**
  - 中国6
  - 韓国1
  - 台湾1
  - フィリピン1
  - インドネシア1
  - タイ1
  - シンガポール1
  - マレーシア1
  - ベトナム1
  - アメリカグアム1
  - インド1
- 北米 55団体**
  - アメリカ50
  - カナダ5
- 中南米 11団体**
  - アルゼンチン1
  - キューバ2
  - ペルー1
  - ブラジル2
  - ベネズエラ1
  - ボリビア2
  - メキシコ1
  - コスタリカ1
- アフリカ 1団体**
  - ザンビア1
- オセアニア 3団体**
  - オーストラリア2
  - フランス ニューカレドニア1



第1回ブラジル移民を運び、サントス港第14埠頭に接岸した笠戸丸



ブラジル・カンボグランデの公設市場前に巨大な沖縄そばのモニュメント！



移民の父、富山久三の銅像



戦後ボリビアに移住した人々。高く設置した干し場に収穫した米を広げる。後ろに見えるのは建物(写真提供：読谷村)



手作りのサーターアンダギーを食べるボリビアのコロニア・オキナワの若者たち



第3回沖縄空手道・古流舞 ブラジル



うるま市にある「海から豚がやってきたモニュメント」



海外でも空手や琉舞を楽しむウチナンチュはたくさんいるよ！

沖縄戦後の貧しい時代に、ハワイから豚を送ってくれたんだブー！

登場するのは…  
**沖縄そば子さん**  
流行や生活情報に敏感で、話題が豊富。ものごしは柔らかいが、あちこーなー性格のため、語り出したら止まらないことも。

